

(様式 1－3)

## 富岡町復興交付金事業計画　復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1－2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	都市防災推進事業（富岡町復興まちづくり計画策定）	事業番号	D-20-1
交付団体		富岡町	事業実施主体（直接/間接）	富岡町（直接）	
総交付対象事業費		86,359（千円）	全体事業費	86,359（千円）	

### 事業概要

富岡町においては、東日本大震災による地震・津波被害及び原発事故により、甚大な被害を被ると共に、長期避難を余儀なくされる中で、平成 24 年 9 月に「第 1 次災害復興計画」を策定し、現在は第 1 次災害復興計画を基本方針として「富岡町復興まちづくり計画」を策定しているところである。

本事業は、第 1 次復興計画の基本方針や施策・事業等を見直し、新たに必要性が生じた町民の生活再建支援に関する施策や、町内の復旧・復興に関する施策、町内全域の土地利用計画等を検討し、中・長期的な目標を改めて示すものである。

### 【該当箇所】

「富岡町災害復興計画（第 1 次）」P4 1-7. 計画の見直しと進捗管理

### 当面の事業概要

<平成 26 年度>

第 2 次災害復興計画の策定

- ・第 1 次復興計画等の基本方針や施策・事業等の見直し
- ・有識者を含めた各種検討会の実施やパブリックコメントの実施。
- ・町内の復興拠点整備位置の比較検討や拠点内の造成計画、施設配置計画等の検討。

### 東日本大震災の被害との関係

富岡町は東日本大震災における地震・津波被害並びに原発事故被害により、町内全域が甚大な被害を被っており、原発事故の収束の目途もたたず広範囲に渡る放射能汚染により、避難生活の長期化が予想されます。

当町の一刻も早い復旧・復興を成し遂げるためにも第 2 次災害復興計画等を策定し、施策等の具体化を早期に図ることが必要であり、また、本計画が町民の避難生活における不安を少しでも和らげることが出来るものと考えます。

### 関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1－3)

## 富岡町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1－2 に記載した事業ごとに記載してください。

N.O.	5	事業名	曲田地区 都市再生区画整理事業（都市再生事業計画案作成事業）	事業番号	D-17-1		
交付団体		富岡町	事業実施主体（直接/間接）	富岡町（直接）			
総交付対象事業費		48,000（千円）	全体事業費	48,000（千円）			
<strong>事業概要</strong>							
平成 23 年東北地方太平洋沖地震に伴う津波により甚大な被害を受けた JR 常磐線富岡駅近郊（曲田地区画整理地内）は、富岡都市計画事業 曲田土地区画整理事業（平成 8 年事業認可～平成 30 年事業完了予定）の中心であり、まちづくりの要となる箇所であった。また、富岡町復興まちづくり計画においても津波被災地域並びに町内帰還希望者の代替の居住地として優良な住宅地を整備するのに適した地区とされている。このことから、休止している曲田土地区画整理事業の再開・計画の変更等を行い、JR 常磐線富岡駅の駅前広場等を含め、町の玄関口そして町民の優良な居住地としての整備を行うものである。							
（「富岡災害復興計画（基本計画）」の「（1）新たな拠点や魅力的な空間の形成」①移設を要望する JR 常磐線の新駅周辺での復興拠点整備 及び ②曲田土地区画整理事業の精査及び整備推進 に位置付。9～11 ページ【重点事業②】インフラ復旧・整備事業（本所）を参照。）							
<strong>当面の事業概要</strong>							
<平成 26 年度>							
事業計画の変更に伴い、仮換地の指定に向けた設計の変更が生じる。このことから、現地測量・家屋調査等を行い JR 常磐線富岡駅近郊の整備を行うための準備を進める。並行して、周辺権利者への説明も執り行う。							
○現地被害状況詳細調査（土地・建物）							
○現地測量調査							
○移転計画の作成（富岡駅周辺・仮換地の再編含む）							
等							
<strong>東日本大震災の被害との関係</strong>							
震災による津波で本計画区域のうち、JR 常磐線富岡駅周辺が浸水し、家屋、道路や鉄道を始めとする公共施設に甚大な被害を被った。							
この区域は、JR 常磐線が南北に通っており、その西側に学校や商業施設などが集積し、施工中であった土地区画整理事業により、居住空間が整備されてきた当町の中心的市街地である。そのため、現在休止中の土地区画整理事業を再開することは、当町復興の足掛かりとして重要事項であり、迅速に進める必要があるものである。							
○当時曲田地区施行面積：約 22ha							
○当時曲田地区施行期間：平成 8 年度～平成 30 年度（平成 23 年度より休止中）							
○津波による人的被害（平成 24 年 6 月 15 日現在）：死者 23 名、行方不明者 1 名							
○津波被害（平成 24 年 6 月現在）：流失・全壊 125 戸、大規模半壊 26 戸、半壊 30 戸							
○津波浸水面積：約 148.8ha（浸水深 TP+11.02m（津波痕跡が確認できる富岡浄化センターにおけるもの））							
<strong>関連する災害復旧事業の概要</strong>							

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

<strong>関連する基幹事業</strong>	
事業番号	
事業名	
交付団体	
<strong>基幹事業との関連性</strong>	

(様式 1－3)

## 富岡町復興交付金事業計画　復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1－2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	6	事業名	町内地形図作成事業	事業番号	◆D-20-1-1
交付団体		富岡町	事業実施主体（直接/間接）	富岡町（直接）	
総交付対象事業費		38,620（千円）	全体事業費	38,620（千円）	

### 事業概要

富岡町の復興に際しては、現在進められている「富岡町復興まちづくり計画」を基本とし、町内各地域の現況を踏まえた各種実施計画を作成することが急務である。

本事業は、震災の影響で地形が変化した管内を把握するとともに、これらの実施計画のベースとなる地形図を作成するものである。

また、既設の地理情報システム（G I S）へのデータアップを行い、併せて震災後より設けられた支所等へのネットワークを構築する。

### 当面の事業概要

＜平成 26 年度＞

- ・震災後における富岡町内地形図の作成。
- ・地理情報システム（GIS）の地形図データの更新、及び出先機関とのネットワーク構築。

### 東日本大震災の被害との関係

東日本大震災により全国的に地盤に歪が生じ、富岡町でも全域において座標のずれ等が発生している。このことから、復興計画並びにその実施計画を行う上で、ベースとなる町地形図を更新する必要が生じた。（今回の地形図の更新は、震災後の国土地理院等のデータを基に作成するものである。）

○富岡町面積：68.47 km<sup>2</sup>

### 関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-20-1
事業名	都市防災推進事業（富岡町復興まちづくり計画策定）
交付団体	富岡町
基幹事業との関連性	
震災後の富岡町内の地形を把握し、それに応じた復興計画を策定していくことが、都市防災指針事業（富岡町復興まちづくり計画策定）において重要となってくる。その計画のベースとなる最新かつ正確な富岡町内地形図を整備することが、本事業の目的である。	